



オーストラリア

パス

2007 年 5 月～ 2012 年 7 月 滞在

子どもの年齢 年長～小5 / 2歳～小2 / 0歳～年少

2015 年 5 月～ 2019 年 3 月 滞在

子どもの年齢 中2～ / 小5～中2 / 小1～小5

(2022 年記)

基本情報

気温	夏は暑く、冬は寒いが雪は降らない 12月～2月は30℃を超える日がある
緊急電話	「000」をダイヤルするとオペレーター経由で、警察、消防、救急に繋がる
電圧	220～240v コンセントの形状はOタイプ
水	飲料水として水道水の利用ができる

買い物

日本の物	日本食材のスーパーがあるが、値段は高め
食料品	通常の買い出しには現地スーパーで問題ない
日用雑貨	質を問わなければスーパーやショッピングセンターで問題ない
学用品	筆記用具全般は日本から持参するとよい
衣類	サイズが大きめ 2018年にユニクロがオープン

交通

公共交通	電車やバス
運転免許	Department of Transport に必要書類を持って行き、書き換え手続きを行う

住居

住宅事情	一戸建て、タウンハウス、アパートメントなどがあり、家族構成に合わせて決めることが可能
日本人が多く住むエリア	Subiaco、Claremont、South Perth、Delkeith
使用人	人件費が高いため、家政婦をお願いする日本人家庭は少ない ベビーシッターはよく利用する
治安セキュリティ	凶悪な犯罪は少ないが、空巣や車上荒らしはよくある どのタイプの住宅でもカメラ付きインターホンがあると安心である

教育

通った学校	日本人学校、インターナショナルスクール
通った学校の	日本人学校は小1～中3まで30数名ほどの小規模な学校で皆仲が良く、親としても日本語で話ができ

詳細	てストレスフリーな場所 インター校は幼稚園児から高3(Year12)まで在籍し、Year11とYear12は国際バカロレアを学ぶ
塾	塾はないが、日本語補習校がある
家庭教師	教員免許を持っていた方に自宅で日本の教科書に沿って勉強を教えていただいていた 英会話のレッスンの先生はすぐに見つかる
習い事	テニス、水泳、トランポリン、ゴルフを習っていた

病院

医療事情	何の問題も心配もない まずはGP(一般開業医)で診察を受け、必要なら専門医宛てに紹介状をもらう
日本人医師	日本人医師はいないが、日本語医療センターには日本人看護師がいて通訳を頼める
薬品	現地で調達可能だが、飲み慣れた常備薬があれば持参するのが良い

交流

日本人	日本人学校や補習校、日本人会のイベントなどで知り合える
現地の人	戸建てに住んでいた時はお隣さんからガレージパーティに誘われたり、子どもが産まれた時にはプレゼントを持って訪ねてくれた
駐在外国人	インター校で知り合う人は皆駐在外国人で、お茶やランチを楽しんだ

伝えたいこと

パースは東側の都市に比べて日本人が多くなるわけではないので、日本人同士のお付き合いも程よい距離感でとても心地良い環境でした。

真夏には35°Cを超える日もありますが、木陰に入ると湿度が低いので涼しく感じられ、真冬も雪が降ることもなく、四季を感じながら一年を通して快適に過ごすことができます。

パースの人はおおらかで明るく気さくに話しかけてくれます。

治安も良く、広い芝生の公園もたくさんあるので、小さいお子様がいらっしゃるご家庭にとって申し分ない街です。

学業については、日本の塾がないので帰国に向けての編入試験対策など、中学生以上の年齢のお子様をお持ちのご家庭は少し心配なこともありますが、その分伸び伸びと自然豊かな環境で心も身体も成長できると思います。

治安のよい国とは言え、日本とは違う緊張感をもって生活しなくてはならない面もありますが、家族単位での行動が多く、絆が深まるかけがえのない時間を過ごすことができます。